

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2021/11/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.86	0.05
JPY/THB	0.2878	-0.0005
USD/JPY	114.06	0.15
EUR/THB	37.61	-0.07
EUR/USD	1.1451	-0.0028
USD/CNH	6.391	-0.009
SGD/THB	24.24	-0.02
AUD/THB	23.94	-0.11
USD/INR	74.52	0.13
USD Index	95.18	0.33

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.176	0.033
10Y (THB)	1.923	0.032
5Y (USD)	1.216	0.000
10Y (USD)	1.549	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,863.9	15.6
WTI (Oil)	81.59	0.25
Copper	9,633.5	100.5

Stock

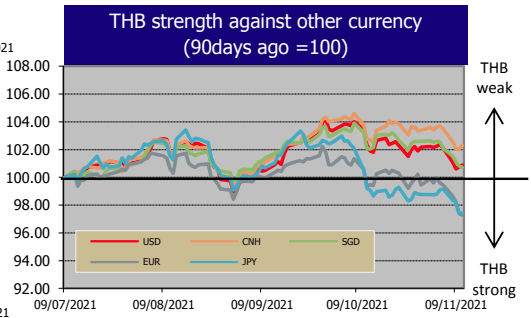
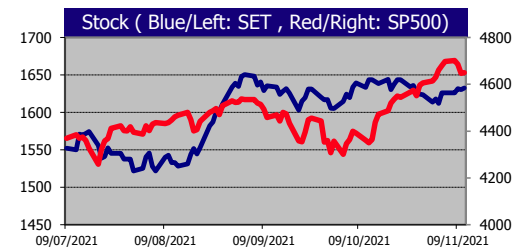
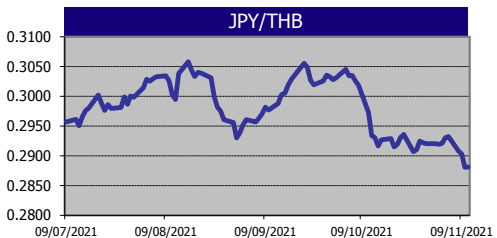
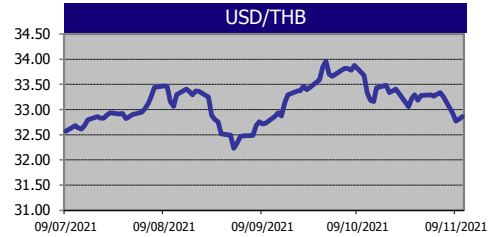
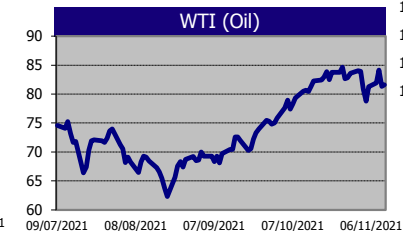
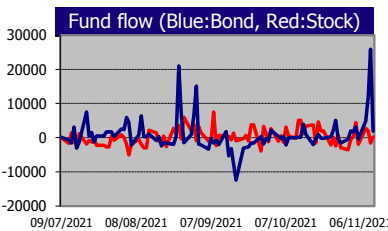
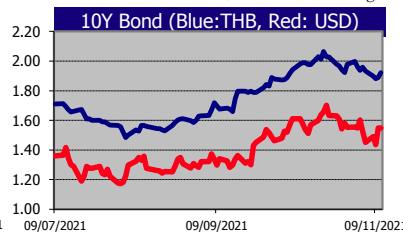
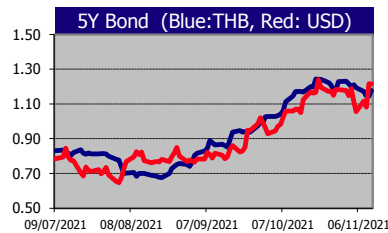
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,632.44	1.97
NIKKEI (JP)	29,277.86	171.08
DOW (US)	35,921.23	-158.71
S&P500 (US)	4,649.27	2.56
SHCOMP (CN)	3,532.79	40.32
DAX(GER)	16,083.11	15.28

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	245	1821.3
Bond net flow	1,919	-23967.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは、上昇後に反落。バンコク時間は32.85近辺でオープン。前日に続き、米国の高止まりする消費者物価指数に注目が集まる中、この日はドル高地合いが継続。ドル円が114円台の大口を回復し、中国では大手不動産企業のデフォルトが騒がれる中でドル人民元が上昇。ドルパーツも一時32.95近辺まで上昇するが、米債市場が休場となる中で見極め姿勢が強まり、引けにかけては上昇分を戻し、結局32.85近辺でクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は114円を挟んでレンジ推移。東京時間は113.90円近辺でオープン。米国の利上げ前倒し期待が高まる中でドル円は底堅く推移し、114円台を回復。しかしショートカバーが一巡し、米債市場が休場となる中で一段の上昇には材料不足で、その後は上値重く推移。114円を挟んでレンジ推移の後、114.05円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

今週は米金利への注目が集まっており、31年ぶりの強さを見せた米10月消費者物価指数(CPI)を受け、FOMC結果と米雇用統計後の金利低下分を吐き出し、FOMC前の水準へと値を戻してきました。各中銀の利上げへの慎重姿勢が確認された今月初旬であります。米国の消費者物価が6%である一方、政策金利は0.00-0.25%という状態が長期した場合、実質金利が▲6%の世界となるため、この水準は普通に考えれば異常な水準といえます。この大きな実質金利マイナス状態に対して、FRBは異常ではないとの認識を示し、FOMC会合後には金利低下が進んだわけですが、今週に入り、実施された米国債の10年、30年の入札が不調に終わったことを受け、入札通過後は金利が大きく上昇する展開となりました。この大きなノイズを与えているのが、巨額の金融緩和とマネーであることは間違いありませんが、大きなマネーを流れ込んでいる米株市場が崩れる様子を見せない状況においては、債券市場が単独で動くことにも無理があります。10月の米CPIは強い数字となったものの、テーパリングペースを加速させるためには複数月の経済指標の見極めが必要となり、利上げ前倒しを期待した金利上昇シナリオを折込むのも難しい状況。マーケットではコロナ感染状況よりも、米国の金融緩和と政策およびインフレ動向への関心が強くなっている状況下、為替以上も米金利動向に振られる可能性があり、ドルパーツについても32台後半でのレンジ相場が意識されます。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.